



ホテル黒部で開かれた「令和6年新年交礼会」。
4回目となり冬の風物詩となった『『がんばろう北見！』
応援ホワイトイルミネーション」

CONTENTS



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライツ500

当所では2023年3月に
認定を取得

2024年 1月号
隔月発行No.169

- 舛川誠会頭 新年のごあいさつ
- 辰年役員・議員の抱負
- 令和6年新年交礼会開催
- 『がんばろう北見！』 応援ホワイトイルミネーション
- セミナー抄録
- 各種無料相談
- 中心商店街 歩行者通行量動態調査結果



新年のごあいさつ

北見商工会議所会頭

舛川 誠

挑戦する企業への支援を強化

新年明けましておめでとうございます。皆様には日頃より商工会議所運営と事業活動にご理解、ご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

3年にわたり苦しめられてきたコロナ禍も昨年5月の感染法上の5類移行を契機に、域内における人流が活性化するとともに観光客が増加し、回復基調となり社会経済活動は正常化してきました。しかしながら一方では、国際情勢の不透明等から資源価格の高騰、円安、サプライチェーンの混乱等の影響により物価高騰が収まらず厳しい状況が続いております。また、地域では人口減少と若年者の流出等からすべての業種において人手不足と賃金の上昇が経営を圧迫しているとの声が寄せられております。

こうした中、商工会議所では急激に変化する経済・経営環境にいち早く対応すべく、昨年8月に会員ニーズ調査を実施し、会員の声である補助金・助成金申請サポートや人材確保、課題解決に向けたセミナー・講習会の開催、地域活性化等の取り組みを実施してきました。

本年においても、中小・小規模事業者の声に耳を傾け、チャレンジする企業の課題解決に向け支援を一層強化していきます。

その1つ目は、企業における収益力の強化です。原材料・エネルギー価格の高騰が続く中、持続的な成長を実現するためには、円滑な「価格転嫁」の取り組みと「生産性の向上」による収益力の強化が不可欠であります。円滑な「価格転嫁」に向けては、企業間取引の適正化を進める「パートナーシップ構築宣言」の登録促進と同時に、消費者の皆様へ「価格転嫁」に対する理解の浸透を図っていきます。また、生産性の向上では、人手不足が大きな課題と

なっていることから、既存の商習慣の見直しや業務の改善等、自己変革にチャレンジしていくことが必要であり、新たに注目されている生成AIやロボットの活用に向け、関連企業と連携し相談・体験会等を通じ、デジタル化実装の取り組みを支援していきます。

2つ目は、労働力の確保であります。人材の確保については、これまで関係機関と連携し実施してきた「オホーツク合同企業セミナー」の対面による就職面接をさらに一歩進め、新たに多くの学生が閲覧・活用している求人サイトとの連携を強化し、採用増につなげていきます。

さらに、近年地域内において増えてきている外国人労働者の確保に向けては、業種毎のセミナーや説明会を開催するとともに外国人労働者間の交流会など、定着に向けた取り組みを検討し、安定した労働力の確保に努めていきます。

3つ目は、企業の維持・存続であります。地域では、後継者の確保ができず廃業する企業が増加しており、2020年に休業した企業は140件を超え大きな課題となっております。現在、北海道事業承継引継ぎ支援センターと連携し、親族内・従業員・M&A等それぞれの企業に応じた引継ぎ支援を行ってまいりましたが、今後も、企業訪問を強化し企業の継続を後押ししていきます。

併せて、厳しい経済環境の中ではありますが、自身の夢やスキルを活かした創業を目指す方が増えており、創業計画書の策定支援や創業後の巡回を強化し、企業の創出・経営継続を支援していきます。

また、当地域にとつて、重要な課題となっており、昨年10月にオホーツク物流セミナーを開催し、330名を超える事業者のみならず

地域住民の皆様にも参加いただき、物流の重要性についてご理解をいただいたところであります。

私達が暮らすオホーツク地域は、わが国の食料安定供給に大きな役割を果たしております。この役割を果たすため、トラック・船舶・航空・鉄道等各モードそれぞれの特性を活かしながら、長い年月を経て現在の北海道の物流が形成されてきましたが、ここに来て人手不足と本年4月からスタートする2024年問題により、必要とされる物資を運搬することが出来ない等の物流の弱体化が懸念されております。

特にオホーツク地域は本州航路の主要港や道内の物流集約拠点からも遠距離となる地域性から、鉄道やトラックによる輸送が重要であります。

仮に、物流が弱体化することになれば、オホーツクだけではなく日本全体の「暮らし」や「経済」に対する影響は図り知れないものとなります。

私は、地域の未来を紡ぐのは「持続可能な人流と物流の実現である」と考えており、今後も北海道商工会議所連合会をはじめ各関係機関と連携し、維持存続に向けしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

最後に、経済センターを含む市街地再開発事業についてありますが、皆様にもご心配をいたしておりましたが、昨年末、新経済センタービル、休日夜間急病センターの工事が始まりました。資材の高騰・納入の遅延、更には人手不足の影響等から工期が延期され、休日夜間急病センターは本年の夏、新経済センタービルは来年春の竣工予定、再開発事業全体の完成は1年延期となり令和8年度となります。中、事業を着実に進められることに感謝しております。今後も北見市の協力のもと事業施行者と連携を図り事業推進に協力していきたいと考えております。

商工会議所は、地域唯一の総合経済団体として、地域経営者の皆様に寄り添い、企業を守り、雇用を支え、成長を後押しするとともに行政・各関係機関と連携し、地域経済の活力強化に向け力を注いでまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

(新年交礼会式辞からの抜粋)

小さな世界貢献

阪田 裕さん(当所常議員)
(昭和27年生まれ)
阪田労務管理事務所所長



昨年を振り返ってみると、さまざまな出来事があった中で、私は特に長引くウクライナ戦争やイスラエル軍とハマスの戦闘で多くの罪のない人々が亡くなっていくニュースを見るたびに心が痛むとともに、日本がいかにか平和かを思い知らされた1年でした。

そこで、私に何ができるかを考えた時、今年は戦争に巻き込まれた人々を支援する活動をしている団体への援助・協力することを目標にしていきたいと思っています。

健康寿命を延ばしたい

戸田 龍一さん(当所常議員)
(昭和27年生まれ)
㈱サン園芸代表取締役社長



今、日本人男性の平均寿命は約81歳、健康寿命は約72歳。

女性はそれぞれ約6歳、3歳と男性を上回っている。男はつらいのだろうか？仲間内で話すのは、やはり健康寿命が大事だと。けどもう届いている。これから何年生きるのかを不安に思いながら生きていくのも、やはりいやだ。

今年を契機に、仕事は世代交代、社会活動はそこそこ、気の張ることはしない。そうして、健康寿命を延ばしながら、少しでも元気で暮らせるようにしたい…ものである。

恵み豊かな地域から

中村 寿志さん(当所常議員)
(昭和39年生まれ)
㈱菓子處大丸代表取締役社長



昨年は当店の新店舗に多くの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

私たちの住むこの地域には、優れた農産品がたくさんあります。今年はそれらをお菓子の素材として積極的に取り入れて、恵み豊かな地域の発展にお役立てできればと思います。

新年の抱負 辰年 役員・議員



新たな挑戦！

船橋 賢二さん(当所議員)
(昭和39年生まれ)
船橋西川建設㈱取締役会長



2024年の干支「辰(たつ)」は、「甲辰(きのえたつ)」であることから、物事の始まりと捉えられ、新しい事を始めると良いとされています。

私は本年、人生の区切りと言われる、還暦を迎えることになりましたが、地域社会の中で生かされている自分をいま一度自覚し、次代に向けた「新たな挑戦」へとつながる「考動」に踏み出すことができるよう、自分に与えられている役割と責任を果たすべく、この1年も精進してまいります。

社是を心に刻み、 信頼される企業へ

鳴下 辰哉さん(当所議員)
(昭和51年生まれ)
北辰土建㈱代表取締役社長



昨年は3月に侍ジャパンWBC優勝での経済効果や、5月には新型コロナウイルスが5類に移行されるなど、経済活動が正常化に近づいた1年でありました。

年男の今年は初心にかえり、社是である「誠意」「熱意」「創意」を大切に心に刻み、社会資本整備に携わる建設業として、人々の安全・安心の確保に責任を持ち、環境への取り組みを強化し、「地域社会から信頼される企業」を目指してまいります。

お菓子里文化と真心を添えて

菓子處 大丸

本店/北見市北2条西2丁目
電話0157-24-2816
常盤店/北見市常盤町3丁目3番20号
電話0157-57-7180



野菜のタネと資材

株式会社 サン園芸

代表取締役社長 戸田 龍一

北見市東相内町121-8

TEL(0157)36-3358 FAX(0157)36-8379

ガーデニングハウス
四季倶楽部
北見市中的島町1-1-8
JAきたみらい内
TEL(0157)57-1087
FAX(0157)57-1086



HOKUSHIN
New Frontier Spirit.

北辰土建株式会社

取締役会長 鳴下 泰久

代表取締役社長 鳴下 辰哉

〒090-0030 北海道北見市北10条東4丁目1番地
TEL(0157)24-8624(代) FAX(0157)61-2097
http://www.hokushindoken.co.jp
E-mail:hokushin@cocoa.ocn.ne.jp





令和6年新年交礼会

会頭が式辞で新年の抱負 約350人が今年の飛躍を祈念

当所の令和6年新年交礼会が1月4日、当所役員・議員・会員・市内各界の代表ら約350人の出席によりホテル黒部で開かれました。

舛川誠会頭は、式辞の中で、「チャレンジ（挑戦）する企業の課題解決に向け具体的支援を一層強化していきます」と会議所事業に意欲をみせ、①企業の収益力強化、②労働力の確保、③企業の維持・存続を柱としたさまざまな取り組みに触れました。その上で、「地域唯一の総合経済団体として、地域経営者の皆様に寄り添い、企業を守り、雇用を支え、成長を後押しするとともに行政・各関係機関と連携し、地域経済の活力強化に向け力を注いでいきます」と新年の抱負。（式辞概要は本誌1頁）。



式辞を述べる舛川会頭



年賀の辞を述べる武部代議士



年賀の辞を述べる辻市長



手締めの音頭をとる湊理事長

また、経済センターを含む中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業の完成が延びたことにかわり、「今後市の協力のもと事業施行者と連携を図り、事業推進に協力していきたい」と述べました。

続いて、武部新衆議院議員と辻直孝市長が「年賀の辞」を披露。武部代議士は、「辰年は飛躍の年でもあります。困難を乗り越えて北海道から大躍進する、そんな年に向け皆さんと取り組んでいきたい。物流、災害に強いまちづくりを進めていくことが食料基地であるオホーツク・北見が成長していく大きな支えとなります。皆様方とこの1年を素晴らしい地域にすべく頑張っていきたい」と抱負。

辻直孝市長は、子育て支援・中心市街地活性化の推進、中国の日本産水産物輸入禁止措置・石北本線問題

の対応等に触れるとともに、「アフターコロナ時代の成長の原動力となるデジタル化やグリーン化といった時代の潮流を加速させ、持続可能なまちづくり、さらなる地方創生を実現するため、果敢に挑戦し、北見にもっと笑顔を広げてまいります」と市政推進に意欲をみせていました。会頭らは、あいさつの冒頭、新年早々の能登半島地震と羽田空港での航空機事故に触れ、哀悼とお見舞いの意を表しました。

このあと、北見市議会の飯田修司議長が音頭を取り、市内各界の代表18人が威勢良く酒樽のふたを開ける「鏡開き」。箏と尺八による新年を祝う生演奏が流れる中、出席者は新年のあいさつを交わすとともに、今年の飛躍を祈念。最後に北見青年会議所の湊雄裕理事長の3本締めにより閉会しました。（担当 総務部）

北見中央大通沿道地区の再開発事業

新経済センタービルは令和7年春、
全体事業も1年延期の8年度に完成見込み

北見中央大通沿道地区の再開発事業は、本年度に予定していた分譲マンションをはじめ、新北見経済センタービル及び休日夜間急病センターの工事が進められています。事業施工者によると、設計内容の精査により工事着手時期に変更が生じ、また、資材調達の都合などにより、休日夜間急病センターの完成は令和6年夏、新北見経済センタービルの完成は7年春にずれ込みました。全体事業の完了年度も1年延期の8年度の見込みとなりました。



新経済センタービル建設地

4回目のホワイトイルミネーション

今季も小公園の幻想的な世界が市民を魅了

本年度も『がんばろう北見！』応援ホワイトイルミネーション事業が12月1日から小公園一帯で実施されています。写真左。点灯期間は1月31日（午後4時～9時）まで。

コロナ禍の危機を乗り越え、北見の元気を取り戻し活性化を図るとともに、医療従事者への感謝を込めて、『がんばろう北見！』応援実行委員会（委員長 河合昭徳当所副会頭）、北見ぼんちまつり実行委員会、北見市観光協会、当所が主催（共催）し、



北見市の後援による取り組み。コロナ禍の令和2年から始まり4回目。前回と同様にアーチが2カ所に設けられ、LED電球約9万個の青・白・ピンク・紫の光により、小公園全体が幻想的な世界となっています。

初日の点灯式「写真右」には、主催・共催団体の関係者のほか、老若男女の市民が来場し、楽しそうに撮影しながら散策していました。今回も同事業の継続実施に向けて市民に広く芳志を募りました。会員事業所、市民の皆様のご協力に感謝申し上げます。（担当 武田卓）



試薬・臨床検査機器 試薬・分析機器 販売
科学機器・理化学機械器具・工業薬品

大槻理化学株式会社

〒090-0056 北見市卸町1丁目6番地2
TEL(0157)36-7211 FAX(0157)36-6589
<https://www.ohtsuki-r.co.jp>

北見営業部 釧路営業部 帯広営業部 札幌営業部

株式会社 小柳中央堂

<http://www.koyanagi-net.co.jp/>

〒090-0056
北見市卸町1丁目5番地1
☎:0157(36)7111(代)
FAX:0157(36)7333



村井小泉建設株式会社

〒090-0834 北見市とん田西町212番地7
TEL (0157) 23-2535 FAX (0157) 22-4354

【豊地事業所】

〒090-1587 北見市豊地69番地7
TEL (0157) 36-8120 FAX (0157) 36-8121

セミナー抄録

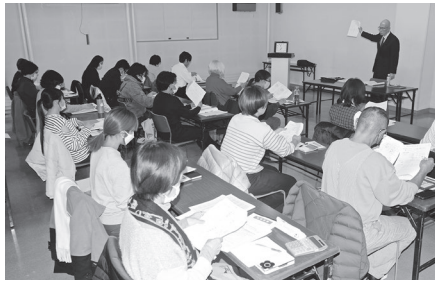
「本気で起業を目指す!! 学生向けのビジネススクール」(12/8)では、北見情報ビジネス専門学校・日本政策金融公庫北見支店の協力の下、新規事業として学生を対象として実施。参加者50名。講師にはBLUE SHEEP(株)の杉本英範氏を招聘し開講。「起業に向けての考え方」や「様々な起業事例」「IT・DXに関する取組」等が説明されました。当日は情報通信専攻の受講者が多かったこともあり、特にIT・DXの取組については関心の高さが伺えました。当スクールは今回を含め2回コースとして開設し、次回は2/16に開講予定です。

(担当 竹中秀之)

「創業実践セミナー」(11/6) 7) 受講者8名、「事業計画作成セミナー」(11/8) 受講者4名では、中小企業診断士・社会保険労務士の



ビジネススクール



複式簿記講習会決算編



ChatGPTセミナー

藤田貴史さんから創業の心得、マーケティング及び事業計画の作成等、各ポイントの説明を受けました。

(担当 武田卓・安藤辰徳)

「新卒採用セミナー」(12/1)では、受講者11人が(株)リクルート新卒Division営業統括部の担当者から新卒採用市場と就活生の動向などの説明を受けました。この中で、企業の採用意欲の高まり、インターンシップ・1日仕事体験に応募・参加学生割合が増えていることから、これからのインターンシップのあり方や条件などについて理解を深めました。

(担当 武田卓)

「複式簿記講習会決算編」(12/4) 6) では、受講者20人が税理士の江澤昭さん(税理士法人北海道みらいオホーツク事務所)から3日間複式簿記のメリット、仕訳のルールから、損益計算書と貸借対照表の作成

までの決算の基礎を学びました。
(担当 古川佳佑)

人工知能(AI)を使ったチャットサービス「ChatGPT活用セミナー」(12/8)では、オンラインを含め受講者約60人がAIの手軽さや魅力に触れました。

講師は東日本電信電話(株)北海道東支店支店長の北垣雅之さんとデジタルグラフィック(株)社長の河村知明さん。GPTでできること(文章、リサーチ、デザイン等)、活用方法、注意点などについて、ロゴやHP作成の実演を交えて学習しました。受講者は、名刺やロゴのデザインがチャットにより簡単に作成できる事例や、「作業を時短、効率化できる便利なツール」「まずは気軽に使ってください」との説明に興味を引いていたようです。(担当 瀧口花帆)

「SNS販路開拓拡大セミナー」(12/18)では、受講者6人がITコーディネーターの阿部祐樹さんからインスタグラムなど「SNS」(ソーシャルネットワーキングサービス)を使った効果的な集客や売上拡大の方法を学びました。
SNSの個人利用が増加する中、企業の宣伝や広告媒体として広まっているSNS。受講者は、ファンをつくり、購買につなげるプロモーションなどに関心を抱いていたようです。
(担当 後藤達哉)

オホーツクの市町村を
日本で一番健康に!

あなたの未来を強くする

住友生命

住友生命保険相互会社 北見支社
〒090-0040
北見市大通西4-4-1 住友生命北見ビル2F
TEL:0157-24-8032

HACCP オホーツク管内唯一 精米 HACCP 認定工場

安心・安全を食卓へ

～営業品目～
米穀・配合飼料・損害保険・火災共済
燃料・食料品・酒類・たばこ

株式会社 **ほくべい**

本社 北見市北3条西1丁目 TEL(0157)23-7301
本社営業課 北見市北3条西1丁目 TEL(0157)23-7308
精米工場 北見市桜町3丁目29-3 TEL(0157)24-6060
紋別支店 紋別市渚滑町2丁目21-1 TEL(0158)23-2147
網走支店 網走市新町3丁目6-26 TEL(0152)43-4355

ホームページ <https://hokubei.co.jp/>

特定建設業

岡村建設株式会社
OKAMURA

取締役会長 岡村 叶夫
代表取締役社長 岡村 金司

北見市北1条東5丁目
☎(0157)24-3165(代) FAX24-1555



初日には行列ができた「スイーツフェア」

当初主催の「北見スイーツフェア」が11月22日から26日までの5日間、コミュニティプラザ・パラポ食品地下売場で実施されました。平成28年からスタートした「伴走型小規模事業支援推進事業」の一環としての取り組みで9回目。今年（令和5）開店した極生プリン専門店こい、(株)菓子工房ベースデイヴ、Gemmedifruit、北見カールディングカスターの4店が出店しました。

同月に「きたみ菓子まつり」があり、出店者の確保が難しく、前回より1店舗減となりましたが、初日に

恒例の北見スイーツフェア 参加店舗減るも行列・品切れの人気

は行列もでき、同フェアを楽しみにしている市民が増えていることがわかりました。閉店の際には各店が品切れ状態にも。期間中の来場者は約3000人。多数の来店があるパラポ地下での同フェアは、出店者にとっては、商品の販売・PRはもちろん、ニーズを知る、さらに顧客づくりの機会にもなっています。

同フェアの目的に、「消費者の声を反映させた新たな商品開発」も位置づけており、今後もパラポと連携し、消費者の声を活かした新商品開発に向け支援していくこととしています。

(担当 武田卓)

事業承継、IT技術導入、経営環境への対応… 各種 無料相談

当所は会員事業所対象の各種相談を無料で行っています（相談日は休日等で変更する場合も）。いずれも予約が必要（TEL 23-4111）。会場は北見経済センターとなっています。

専門家個別相談会

専門家による個別経営相談窓口を毎週金曜日に設けています。経営環境の変化の影響等の相談に応じています。相談員は合同会社ふじた経営企画代表社員の藤田貴史さん（社会保険労務士、中小企業診断士）。1月は19日、26日に予定しています。

DX・BCP個別相談

IT技術を導入し業務改善を目指すDX（デジタルトランスフォーメーション）・BCP（事業継続計画）に関する個別相談窓口を設けています。DX、BCPをどう進めていけば良いのか分からない方に対して、ITコーディネーター・BCP導入コンサルタントの阿部裕樹さんが助言します。1月は23日に予定しています。

事業承継相談室

「事業承継相談室」は、月2回、北海道事業承継引継支援センター北見サテライト担当職員により対応しています。1月は、24日、2月14日、21日に予定しています。

知財に関する相談会

当所と（独法）工業所有権情報・研修館北海道知財総合支援窓口共催の「知財に関する相談会」は、1月25日に予定しています。

不動産賃貸・管理・売買

セクト



株式会社セクト
本店
北見市とん田東町404番地
賃貸営業部/売買営業部
TEL 0157-23-2103
買取管理/建物管理/総務部
TEL 0157-23-2183

夕陽ヶ丘支店
北見市高栄東町1丁目11番2号イオン横向
TEL 0157-23-8126

美幌支店
美幌町稲美90番地96
TEL 0152-73-3000

宅地建物取引業 北海道知事オホ(6)第292号・賃貸住宅管理業 国土交通大臣(2)第2708号
営業時間/10:00~18:00 定休日/水曜日
<https://www.e-sect.co.jp/> セクト 検索

これまで、これからも、
地域とともに。



北見信用金庫



株式会社 安全

ANZEN GROUP
〒090-0835 北見市光西町172
TEL 0157-24-4030
FAX 0157-24-5272

ガラス事業部
TEL 0157-24-4030 FAX 0157-24-5272

チーセル事業部
TEL 0157-24-5296 FAX 0157-24-5272

塗料事業部
TEL 0157-24-6868 FAX 0157-23-6157

介護レンタル事業部 介護のあんせん
TEL 0157-26-4125 FAX 0157-23-5600

網走営業所・遠軽営業所
紋別営業所・中標津営業所

「健康経営優良法人2023」認定 会員事業所紹介④

(株)日専連ニックコーポレーション執行役員・総務部長の齒黒憲忠さん(55)にお話を伺いました



認定・取り組み通じて、健康に対する意識向上・残業時間減少

Q：健康経営優良法人2022、2023に認定されていますが、健康経営の取り組みきっかけは。



A：以前から健康経営について聞いていました。アクサ生命さんに勧められ健康経営優良法人への申請が具体化しました。当社は「きた

みワークライフバランス認定事業所」でもあり、働き方改革の流れの中、取り組むこととしました。

Q：どんなことに取り組んでいますか。

A：健康診断、特定保健指導の勧奨、健康経営セミナーの開催、残業時間を減らす取り組みなどを行っています。アクサ生命さんの協力による健康経営セミナーでは事前のアンケート結果をもとに社員の傾向が分析され、運動不足の社員が多いこと、その対策などの説明がありました。

Q：それら取り組みの効果はどうか。

A：健康優良法人への認定、具体的な取り組みが社員の健康を考える良い機会になっている

と思います。特定健康指導（生活習慣を見直す支援）の対象者は以前、8人から10人いましたが、受けるのは数人でした。最近を対象者自体が令和3年7人、4年4人と減りました。健康経営の取り組みを継続することで、社員の健康状態、残業時間などが良い方向に改善されています。

Q：従業員の「ワークライフバランス」（仕事と生活の調和）の実現に向けて、多くの企業が「長時間労働の削減」に取り組んでいます。

A：当社では長年、手書きの出勤簿をつけ、残業は上席者が判断して認めています。これを可視化、クラウド化する出退勤システムを次年度以降、導入する予定です。昨年（令5）、そのデモ機により試行しましたが、残業時間が減りました。

Q：今後、どのようなことに取り組んでいきたいですか。

A：当社社員（平均年齢45歳）の課題の1つである運動不足の解消を図るにはどのようなことが効果的なのか。福利厚生として法人契約によるフィットネス・スポーツジムの活用も1つですね。これらを含めて検討していきたい。また、健康経営優良法人であることをロゴマークの名刺への印刷などによりPRしていきたい。

(株)日専連ニックコーポレーション

北見市北2条西1丁目16番地1 TEL24-2000

【企業概要】昭和40年北専信用(株)(前身)設立。47年日専連全国共通クレジットカード、平成4年日専連JCB・DC VISA各カードを発行。61年銀行保証ローン、リース保証の取り扱い開始。8年現社名に商号変更、令和4年(株)日専連北見を経営統合。社員は74人。関連会社に北見観光開発(株)、(株)北見コンピューター・ビジネス、(株)北見都市施設管理(株)。クレジットカード・ファイナンス事業のほか、北見市から指定管理業務を受託しています。



(株)日専連ニックコーポレーションHPから

税理士法人 中央総合会計北見

税理士 井内 敏 樹
税理士 西村 純 一

北見市北3条東2丁目
電話(0157)24-8866
FAX(0157)24-6108



本年もよろしくお願い申し上げます。

北見ハッカ通商
KITAMI HAKKA TSUSHO Co.
北見市卸町 1-7-3 TEL(0157)66-5655

いつもご利用いただきありがとうございます

北見冷蔵株式会社

北見市川東283番地2
TEL(0157)24-8711(代)
FAX(0157)24-1553

空港でのお買い物は

村 一番

日本一・北見玉ねぎ
日本一・オホーツク海の鮭
日本一・原生花園のハマナス

女満別空港店 ☎(0152)74-3715



全体で1割増え、平成29年以降最多

「買物」減り2割、「用務」増え6割に

中心商店街歩行者通行量動態調査結果

■令和5年の中心商店街の歩行者通行量動態調査結果

〔10月13日（金）～15日（日）、中心商店街5カ所・1日10回調査〕

3日間の通行量は、前年比10・1%増の5921人となりました。この全体の通行量は平成5年と比べ3割ほどですが、平成29年以降で最多となっています。

調査期間が3日間ともに晴れ、北見駅南多目的広場などを会場とした菊まつり、オクトーバーフェスト、ハロウィンフェスティバルの開催期間中

株式会社 道東アークス
〒090-0056 北見市柳町3-7-2
TEL.0157-36-5121

であったこと、同フェストは4年ぶり（パラボから同広場へ）となり、これらが歩行者増加の要因と考えられます。街路別では、大通と中央通が大きく増え、2115人（前年比33・5%増）、1292人（同42・8%増）。

ほか3街路は銀座通1132人（同5・0%減）、二番街793人（同29・8%減）、一番街589人（同3・2%増）となっています。

客層別では、「用務」66・1%（前年29・0%）、「買物」23・1%（同57・4%）と前年の結果を逆転。「買

オホーツクのおいしさぎゅっと。
LOVE CANDY LOVE HOKKAIDO
ながたあめ
永田製菓株式会社

物」は令和3年度同様に20%台に落ちました。ほか「通学」5・8%（同6・8%）、「通勤」5・0%（同同）となっています。

年齢層別では、高齢層2610人（前年比26・1%増）、中年層1927人（9・8%減）、若年層1384人（同17・8%増）。各層別割合は、高齢層44・1%（前年38・5%）、中年層32・5%（同39・7%）、若年層23・4%（同21・8%）と高齢者で4割を超えています。

動態別では、単身83・8%、友だち連れ8・8%、カップル4・8%、子ども連れ2・6%。前年とほぼ同様となっています。

曜日別では、金曜日2385人（前年比18・9%増）、土曜日1999人（同29・1%増）、日曜日1537人（同15・8%減）と日曜日（前年3連休の中日）以外が増えています。また、特別追加調査箇所の中央通

株式会社 舟山組
代表取締役社長 二本松 雅行
代表取締役副社長 舟山 亮真
北見市寿町6丁目3番4号
TEL(0157)23-5070 FAX(0157)31-6238
www.funayamagumi.co.jp

（北2条）は前年比38・5%、特別調査差点の大通・中央通交差点は同43・9%それぞれ増加しました。詳しくは、当所ホームページをご覧ください。

（担当 池亀由基）



通行量が増えた中央大通沿い

おいしくてためになる
お菓子づくり
SAKAI OSHIROI
www.seigetstu.co.jp
清月

女性会 11月例会

移動例会として

北見ハッカ通商で学ぶ

女性会の11月例会は13日、移動例会として、会員22人が(株)北見ハッカ通商を訪ねました。

ハッカ製品の製造・卸売業をしている同社(昭59創業)の現社屋は令和元年に完成し、併設の見学エリアでは「北見ハッカ」の歴史や資料などが展示され、ハッカ油スプレ어의商品化の一部も見られるようになっています。

移動例会では、同社社長で、当所副会頭の永田裕一さんから見学エリアで北見ハッカを学んだほか、同社



北見ハッカ通商での女性会の12月例会

のハッカの栽培・研究も含めたこだわりの商品づくりなどの講話に熱心に耳を傾けました。

(担当 池亀由基)

青年部 12月例会

2年間の活動を振り返り

忘年会で親睦深める

青年部の12月例会は14日、「忘れない忘年会」をテーマに、71人の出席により、北見プラザホテルで開かれました。

現会長体制下の2年間の委員会活動を映像により振り返ったあと、中井会長の乾杯の音頭により、飲食をともにした歓談に入りました。

各テーブルでは、和気あいあいと

4年ぶりに まちなかSHOW10で クリスマスリース教室



当所が運営する「まちなかSHOW10」(北2西2)で、当所と香り彩るまちづくり推進機構の主催による「クリスマスリース教室」が4年ぶりに行われました。市内の主婦ら7人の参加者は、同機構の長部こずえさんらの指導を受け、切った地場産トマツの枝をリースの土台にしぼり、ボリュームや形を調整し、リボンなどの飾りを付けるまでの作業に熱心に取り組んでいました。一時間半ほどでオリジナルのリースが出来上がり、会場は一足早くクリスマスムードを漂わせていました。(担当 安藤辰徳)



交流を深めた青年部の12月例会

会話を弾ませたり、ステージ上の会員による余興に盛り上がりつつありし、賑やかに親睦を深めました。

(担当 武田卓)

中小企業の元気は、地域の元気!

オホーツクの元気を応援する - 中小機構 -

中小機構の主な支援メニュー

- ・専門家無料経営相談(原則第2・第4月曜日)
*開催日についてはお問い合わせ下さい
- ・専門家の長期派遣(経営課題を根本から解決)
- ・地域の特徴を活かした新商品や新サービスの開発支援

- ・海外展開(現地視察、商談、計画のブラッシュアップなど)
- ・小規模企業共済(経営者の退職金制度)
- ・経営セーフティ共済(連鎖倒産防止制度)
- ・人材育成(中小企業大学校 旭川校)

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人
中小企業基盤整備機構 北海道本部 北見オフィス
〒090-0023 北見市北3条東1丁目2番地 北見商工会議所2F
TEL0157(57)5677 FAX0157(57)5688
担当/松田



ミント共済・福祉キャンペーン お礼

当所の「秋の共済・福祉制度キャンペーン」に対する会員事業所の皆様のご協力にお礼を申し上げます。

ミント共済・福祉制度では当初の目標を達成することができました。同キャンペーン終了後も会員事業所の皆様の福利厚生の上や経営安定のため、共済・福祉制度の推進を図ってまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。(担当 総務部)

会員事業所限定

各種情報メール配信

当所は、会員事業所限定サービスとして、会員事業所のHP紹介(当所HPにリンク)と、企業経営の関連制度やコロナ支援金情報など、各種情報のメール配信を無料で行って



代表取締役 原谷 真人

〒090-0834 北見市とん田西町378番地2
電話(0157) 33-3833

http://www.kitaseki.com/
E-mail: info@kitaseki.com

います。会社のPRや情報収集に役立ててください。

(担当 瀧口花帆)



こちらよりメール配信サービスにご登録いただけますので、ぜひご登録願います。

〈ビズサポ北見〉

創業・開業、経営課題に対応

当所が運営する「北見ビジネス総合サポートセンター」(北見経済センター2階、通称・ビズサポ北見)では、専門コーディネーターが経営課題を抱える中小企業経営者をワンストップサービスでサポートしていきます。

同サポートセンターには、事業提携先の中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスと北海道知的財産

情報センター北見サテライトが同居しています。

同北見オフィスをはじめ、北見工大、金融機関、税務・法務機関と連携して相談案件に応じた専門家の紹介も行っています。

創業・開業から事業の経営に係るさまざまな課題対応など、同サポートセンター(TEL 57-5677)に相談ください(無料)。(担当 竹中秀之)

〈北海道中小企業

総合支援センター〉

当所内に設置されている(公財)

北海道中小企業総合支援センターオホーツク支部では職員3名(うち2名非常勤)体制で中小企業・小規模事業者のさまざまな経営課題に係る相談に応じています(無料)。お問い合わせは、同オホーツク支部(TEL 31-1123)へ。

～安全と信頼を地域へ～

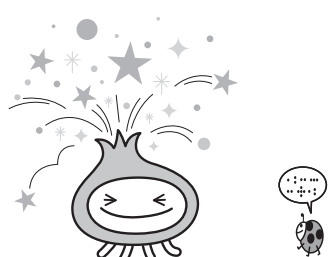


INTEGRITY x KINDNESS x HAPPINESS

施設警備/巡回警備/保安警備
交通誘導警備/駐車場警備/イベント警備

インター警備保障有限公司

〒090-0052 北見市北進町5丁目1番48号
TEL: 0157-32-9800 / FAX: 0157-32-9801
E-mail: info@inter-keibi.com
URL: https://inter-keibi.com



www.nissenren-nicc.co.jp

あなたのセキカツを
ユカイにするキーワード
日専連NICC
株式会社日専連ニックコーポレーション
TEL 0157-24-1033

オホーツク圏に精通する
地域経済の情報企業



■管内経済情報誌発行 ■企業信用調査 ■データサービス

おかげさまで創業63年

株式会社 東亜リサーチ

〒090-0046 北見市北6条西5丁目1番地
Tel (0157) 23-6288 / fax (0157) 24-1033
URL: http://www.toa-research.co.jp
E-mail: info@toa-research.co.jp

新入会員紹介 (入会日 令和5・10/20～12/19)

- (株)住計画 aims (赤坂敏彦さん、東陵町1-3、建築工事設計・施工・監理)
- インド料理クリシュナ(川邊雄治さん、大町15-1、インド料理)
- i t o (三田風花さん、北6条西3丁目、スナック)
- 助産師ケアサロン 青い小鳥(長谷川桂子さん、朝日町5-10、助産師業務(妊活ケア、マタニティケア)・アロマセラピスト・物販)
- 水谷整骨院(水谷隆人さん、朝日町48-635、柔道整復)
- ココール(濱田観帆さん、北5条西3丁目11-2 ナシオビル2階、飲食店)
- 北海道東急ビルマネジメント(株)第三営業部 北見・網走営業所(海崎文康さん、大通西4丁目2 ノースウィングビル4階、ビルメンテナンス業)

ご入会ありがとうございます

会 員 紹 介

会員増強運動中！
～非会員に入会をお勧めください～

イオンで子ども服を販売、リアル店舗の魅力高める

(有)スタイ

(有)スタイ(折戸孝憲社長)はイオン北見店3階で子ども服を中心に「ミキハウス」など3つの国内ブランドと、セレクトショップを運営しています。店名のスタイは「よだれかけ」という意味で、子ども服店らしさから命名。イオン釧路店にも出店。社長の折戸さん(58)は市内アパレルショップに15年勤務し平成12年に独立開業。アパレル業界に入り38年になり、その魅力は「接客、お客様との会話が楽しい」と。各ブランドの特徴を生かしながらの現在の品揃えに加え、今後は「子ども服でも大人の服でもないジュニア向けの商品にも力を入れていきたい」と抱負。ネットにはない、リアル店舗(実店舗)の魅力づくりを高めているようです。



北見市北進町1-1-1 イオン北見3F TEL22-9696

不動産賃貸・売買、空き家問題の取り組みも

(株)セカンドレグ

昨年6月に創業した(株)セカンドレグ(石下晋太郎社長)は北見市を中心に不動産賃貸(売買)業務を行っています。金融機関勤務から独立・起業を果たした石下社長(42)。社名はサッカー用語「セカンドレグ」(第2戦)から命名。斜里町出身。6年ほど居住している北見市で「第二の人生」をスタート。半年が経過し、事務所の態勢を整え、自社のHPも開設。今後、外回り営業に力を入れ、軌道に乗せていく計画。「理想的な不動産を見つける手助けに努めていきたい」と石下社長。社会問題となっている空き家問題にも取り組み、「協力会社との連携により、中古住宅のリフォームという選択肢も広めていきたい」と話しています。



北見市美山町南8丁目45-49 TEL33-3160

「会員紹介」に掲載ご希望の事業所は当所総務部(23-4111)宛ご連絡願います。(掲載：無料)

今後の予定

1月

- ◆18日 日商合同委員会、日商昼食懇談会・常議員会・議員総会、支援施策セミナー
- ◆19日 専門家個別経営相談窓口(26日)
- ◆22日 道商連会頭・副会頭・委員長による政策懇談会、北海道知事との政策懇談会
- ◆23日 ロボット&DX体験会、DX・BCP個別相談
- ◆24日 改正電子帳簿保存法対応セミナー
- ◆26日 三役会、正副会頭と部会長・委員長懇談会・オホーツク合同企業セミナー
- ◆31日 税務労政・中小企業合同委員会

2月

- ◆5日 建設業部会、都市振興委員会
- ◆6日 全道商工会議所専務理事会議、サービス業・理財合同部会
- ◆7日 運輸車輛部会、交通観光委員会合同会議
- ◆9日 総務委員会
- ◆11日 珠算検定
- ◆13日 創業実践セミナー(14日)
- ◆16日 三役会、正副会頭と女性会正副会長・青年部三役との合同懇談会
- ◆19日 議員会麻雀大会
- ◆25日 簿記検定
- ◆27日 日商第3回まちづくり・地域経済循環推進専門委員会
- ◆29日 三役会、正副会頭と正副部会長・正副委員長合同連絡会議

編集後記

豊かな生活のために時間を贈りあう

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

いきなりですが、昨年よく“タイパ”という言葉を目にしましたが、この“タイパ”を優先するあまり、時間や効率性に捉われて何となくギスギスしたり、人を想う時間が減ったりしてはいないでしょうか。

現代社会では、時間は常に不足していると感じられるものです。私たちは、時間を節約するために、機械やテクノロジーに頼り、時間を有効に使うために、計画やスケジュールを立て、生産性向上に努めます。

それらのことは、現代社会において非常に大切なことです。しかし、それらを考えるがあまり、私たちは人とのコミュニケーションを疎かにしてはいませんか？人に対する時間の贈り物を忘れていないでしょうか？

時間は、私たちにとって貴重な資源であるとともに、大切な贈り物です。私たちは、互いに時間を贈る(つくる)ことで、人と人との関係を深め、信頼や感謝を受け取り、関係性が良好になるのではないかと思います。

本年は、より豊かな生活を送るために“時間を贈りあう”ことを頭の片隅に置いてスタートするのはいかがでしょうか。今年、あなたは、誰に、どんな時間を贈りたいですか？